

## 運動会で見取る「学年の姿」

日曜日の運動会に向けて、全校での練習が始まりました。

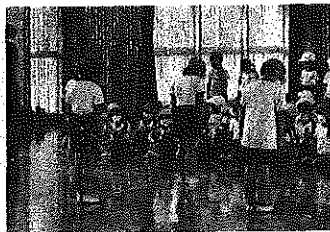
コロナの感染拡大につながらないように、配慮をしながらの開催で、制約もありますが、やはり運動会は大切な行事です。

今年のように新学期から間もない5月に開催する運動会は、この行事を通して、進級した学年としての心構えを確かなものにして成長することもねらっています。

低・中・高学年グループの行動で、2年生4年生は、それぞれ1年生3年生の手本となろうとしますし、1年生は小学校の枠組みの中の行動に慣れようとしています。3年生は学校の活動源となる中学年の仲間入りをしたことを自覚して行動し、5年生はいろいろな係の中で、学校を支えるリーダーの仲間入りをしたことを感じながら活動します。そして、6年生は、随所で役割を担いながら、最高学年として学校を引っ張っていくリーダーであることの自覚を深めていくのです。



並び方を聞いて、しっかり気を付けをする1年生



ダンスの手本を見せるため準備をする2年生



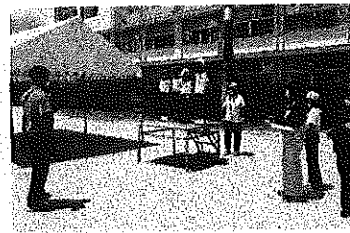
力強さを発揮しようと動きを合わせる3・4年生



新しい表現「フラッグ」に挑戦する5・6年生



休み時間にも練習や打ち合わせをする5・6年生や1年生



運動会で発揮されるのは、単なる運動の力ではありません。

時間通りにまとまって移動すること、並びこと、かいっぱい走ること、音楽やリズムに合わせてみんなで踊ること、最後までやりぬこうとすること、係の仕事を果たすこと、等々、活動の中には子供たちの育ちがあらわれています。

そして、運動会で見せる姿になるまでには、その学年としてふさわしくなりたいと、活動を重ねてきた子供たちのがんばりがあるのです。

運動会当日に表れる、子供たちの「その学年としての成長したい」とがんばる、価値ある姿を見取って、たくさん認めてあげてください。